

三井不動産(保有林の間伐材)×東京おもちゃ美術館(玩具監修)×大建工業(空間づくり)×パワープレイス(デザイン監修)

3F

環境との共生を学べるキッズプレイエリア 「Wood Cube(ウッドキューブ)」

木のぬくもりを感じながら、木のおもちゃで自由に遊べる無料のキッズプレイエリア「Wood Cube(ウッドキューブ)」を設置します。『遊びながら 会話しながら 触れ合いながら 学ぶ』をコンセプトに、遊びながら自然の大切さや森の再生について学べます。

木育ひろば



Wood Cube 「森の恵みの壁面遊び」



森の物語ボード

「森～そだてる・つくる・いかす」の物語を表現。手に触れて動きや発見を楽しめるボードです。



森の草花ボード

樹木の幹を転がり落ちる、こどもに人気のおもちゃです。



森の虫ボード

木肌に触れながら意外な感触を“遊”べます。

森の積み木
ボード

子どもたちの創造力と表現力を高めま
す。

森の音色
ボード

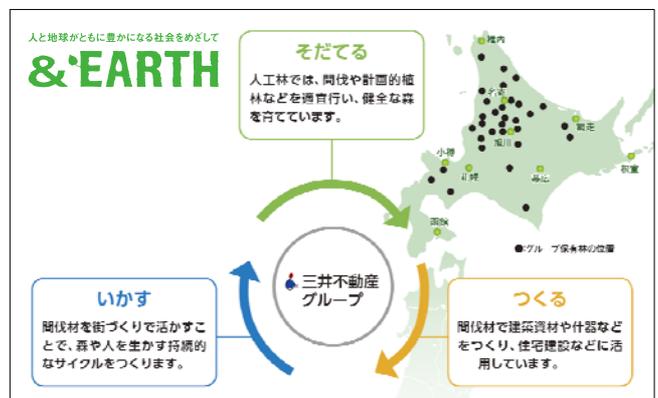
木琴での音遊びや
森の音が楽しめるス
テージです。

三井不動産(保有林の間伐材)×東京おもちゃ美術館(玩具監修)×大建工業(空間づくり)×パワープレイス(デザイン監修)

＜三井不動産グループ＞北海道に約 5,000ha の森林を保有し、天然林は最低限の管理のみで、人工林は下刈りや間伐林などを適宜実施して健全な森林を育てています。これらの間伐材を建築資材などで活用、使用拡大を図ることで、「森～そだてる・つくる・いかす」サイクルを構築しています。

＜東京おもちゃ美術館＞東京・四谷にある国産材の木をふんだんに使って作られた体験型ミュージアム。木のおもちゃを通して、自然とのつながりを考える『木育』に取り組み、世界中から集めた木のおもちゃで実際に遊ぶことができます。

＜大建工業＞国産材の活用推進に取り組む住宅用建材の大手メーカー。森のサイクルに沿って持続的に国産材を使い、CO₂を削減する「木づかい」に参画しています。



「森～そだてる・つくる・いかす」

三井不動産グループでは、グループのロゴである「 (アンド)」マークに象徴される「共生・共存」、「多様な価値観の連繋」の理念のもと、グループビジョンに「&EARTH (アンド・アース)」を掲げ、社会・経済の発展と、地球環境の保全に貢献しています。「&EARTH (アンド・アース)」は、三井不動産グループの街づくりが常に地球とともにあることを認識し、人と地球がともに豊かになる社会を目指していることを表しています。

* 上記の写真・イラストは全てイメージです